

令和2年3月1日に思う

昨年秋に「子ども・子育てアンケート調査（就学前児童および小学生・中学生の保護者75人を対象、うち48人が回答）」を実施しました。

「(貴方が) お住まいの地域は、子育てがしやすいと思いますか」の問いに、「ともしやすい」もしくは「どちらかと言えばしやすい」と答えた人が33人で、全体の7割近く(68.7%)いました。「高い数値」ではありますが、私たちはこの結果に満足せず、「子どもが輝き、子育てしやすい環境づくり」に全力で取り組みます。

これらの「思いや意見」は、この4月からはじまる「第2期子ども・子育て支援事業計画」にしっかりと反映しています。この計画書の中には、前述のアンケート調査結果も掲載しており、ここではその一部をご紹介します。

「子育てをする上で気軽に相談できる人はいますか」の問いでは、「いる」と答えた方が95.8%。おおむね全員が「子育ての相談ができる環境にある」と答えています。一方、子育てに関して「不安や負担を感じる」「なんとなく感じる」と答えた方が19人で、全体の4割近く(39.6%)います。また、子育てにストレスがたまって「手をあげたり、世話をしなかつたりした経験のある人」は、7割(66.7%)います。さらに、住環境の問いでは、「遊び場や広場が少ない」と答えた人が64.7%いました。

先月にも触れたように学校教育の拡充と子育て環境の整備は重要政策です。これらの結果を真摯に受け止め、「子どもが輝き、子どもの声があちこちで聞こえる」ことをめざし、引きつづき、しっかり進めます。